

恐れと信仰 マルコの福音書 4:35-41 VBS 2023

今週は YIBC のバケーション・バイブル・スクールで最高の一週間を過ごしました。そこで、皆さんにも昨日の行った短い劇の楽しさを少しでも味わっていただきたかったです。これは、聖書のマルコの福音書に登場する、イエスと弟子たちに実際に起こったお話です。まずは、私たちのバージョンより少し短いですが、聖書から、この物語を読んでみましょう。さてその日、夕方になって、イエスは弟子たちに「向こう岸へ渡ろう」と言われた。36 そこで弟子たちは群衆を後に残して、イエスを舟に乗せたままお連れした。ほかの舟も一緒に行った。37 すると、激しい突風が起こって波が舟の中にまで入り、舟は水でいっぱいになった。38 ところがイエスは、船尾で枕をして眠っておられた。弟子たちはイエスを起こして、「先生。私たちが死んでも、かまわないのですか」と言った。39 イエスは起き上がって風を叱りつけ、湖に「黙れ、静まれ」と言われた。すると風はやみ、すっかり凪になった。40 イエスは彼らに言われた。「どうして怖がるのですか。まだ信仰がないのですか。」41 彼らは非常に恐れて、互いに言った。「風や湖までが言うことを聞くとは、いったいこの方はどなたなのだろうか。」

この箇所で語られているのは、イエスと、イエスとともにいる 12 人の弟子たちについてです。彼らは、イエスが地上にいる間、イエスと一緒に各地を巡り、イエスがこの地上で行われた数々の奇跡を目の当たりにした、最も親しい 12 人の弟子たちです。これは、イエスと彼らが過ごした 3 年間のうちの最初の頃だと考えられますが、おそらく彼らは、イエスが行ったいくつかの奇跡を既に見撃して、これからまた別の奇跡を見るところだったのでしょうか。イエスは、ちょうど彼の話を聞くために集まった群衆に丸一日かけて教えを説いたところでした。イエスはガリラヤ湖の近くで教えており、この湖は時代によってティベリウス湖ともキネレット湖とも呼ばれていました。エルサレムの北約 120 キロに位置し、地球上で最も標高の低い淡水湖です。教えが終わると、イエスは彼らに向こう岸に渡るようにと勧められました。イエスは宣教の中で、自分の周りに集まる群衆から逃れるために、舟でその場を離れることが何度かありました。イエスと弟子たちは舟に乗り込み、一日中教えられ、疲れたイエスは舟の端で眠りにつきました。イエスが眠っている間に嵐が来しました。2010 年から 2012 年にかけて、私は横須賀を基地とする非常に大きな空母に 2 年間乗っていました。その期間中、イエスが乗っていたこの船のサイズに近い小型の舟にも乗る機会がありました。嵐でなくても、ボートは水面で左右に大きく動きます。通常はそのおかげでぐっすり眠ることができますが、嵐の時は、その優しい揺れがとても恐ろしいものになります。これは現代の鋼鉄製の軍艦に見られることです。彼らは大嵐の中、木造の漁船に乗っていました、そして、弟子たちの多くは経験豊かな漁師や船乗りでしたが、この嵐の大きさには怯えました。

聖書について知っておくべきことは、聖書はたくさんの物語が詰まった単なる歴史書ではないということです。それぞれの物語は、神とはどんなお方か、特に神の御子イエス・キリストがどんなお方であるかを知るためのものなのです。つまり、こうした出来事は、今の時代にも適用できることがあります。私たちが湖の真ん中で木造の漁船に乗っているときに嵐に見舞われることはまずないと思いますが、人生の中でさまざまな嵐に直面することはあるでしょう。あなたの命を脅かすことはないとしても、身体や心の健康、人間関係、仕事、経済的なこと、あなたの人生にとって嫌なこと、難しいことをいくつももたらすような状況にあなたは直面するでしょう。聖書にあるこの物語は、弟子たちがしたように、私たちがこのような状況にどう対処すべきかを教えています。彼らの最初の反応は恐れでした。しかしその後、彼らがイエスに心を向けると、イエスは彼らに、私たち誰もが学ぶべき信仰の教訓を教えてくださいました。嵐は大きく、彼らは恐れていましたが、イエスは眠っておられました。彼らにとって眠っているイエスの姿は、ご自身の命だけでなく、彼らの命にも関心がないことを示すものでした。ですから、38 節にはこう書かれているのです。弟子たちはイエスを起こして、「先生。私たちが死んでも、かまわないのですか」と言った。彼らの中では、自分たちの周りで起こっている嵐を、イエスが気にかけてくださらないことを意味していました。私たちも神に対して同じように感じる場合があります。私たちのことを、あるいは私のことを気にかけてくださる神がおられるなら、なぜ私はこんな目に遭って

るのだろうか？もしかしたら、あなたは神を信じていかもしれないし、私たちが経験するどんな嫌な状況も、人生の偶然に過ぎないのかもしれませんが。聖書は、神が宇宙の唯一の真の神として存在し、すべてのいのちの創造主であると教えています。今週、子どもたちは聖書の一番最初の節からそのことを学びました。創世記1章1節、はじめに神が天と地を創造された。

その創造の頂点が私たち人間でした。宇宙も、そして人間さえも、もともとは完璧に創られていました。この世界も、神が創造した人間も、命を脅かすような嵐に見舞われることはありませんでした。しかし、最初の2人の人間、アダムとエバが罪を犯したとき、つまり神の命令を破ったとき、すべては変わりました。ローマ人への手紙5章12節 聖書の中で、このことが私たちすべてにどのような影響を及ぼしたかを説明しています。1 こういうわけで、ちょうど一人の人によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、こうして、すべての人が罪を犯したので、死がすべての人に広がったのと同様に——罪は社会の基準ではなく、神の基準に基づいています。創造主として、ご自身に栄光をもたらさないものを決められます。私たちは皆、神を神として認め、神に栄光を帰すことができなかつたのです。その罪は世界と被造物、そして私たち個人に影響を及ぼします。その罪こそが、弟子たちが嵐を恐れなければならなかつた理由なのです。なぜなら罪とは、私たちがやがて死ぬことを意味しているからです。しかし、弟子たちが気づかなかつたのは、舟の中で彼らと一緒にいて眠っていたひとりの人が、彼ら自身のために罪の問題を引き受け、私たちの罪の影響を受けた自然界を支配することができるお方だということです。聖句の中で、次に起こることを見てみましょう。39 イエスは起き上がって風を叱りつけ、湖に「黙れ、静まれ」と言われた。すると風はやみ、すっかり凪になった。これは驚くべきことです。イエスは目を覚まし、それでも恐れていませんでした……眠り続けることもできたでしょうし、彼にとってはそれでもよかつたのでしょうか。しかし、イエスは英語では3つの言葉日本語では2つの言葉で「黙れ、静まれ」と言われ水を従わせました。するとどうでしょう、そこには平安が訪れ、嵐は静まりました。舟の上で眠っていたイエスに、どうしてこのような力があつたのでしょうか。それは、聖書がイエスは私たちの創造に関わつたと述べることで、イエスが神そのものであると説明しているからです。聖書のヨハネの福音書では、イエスは最初の3節で次のように紹介されている。ヨハネの福音書1章1節から3節まで 1.初めにことばがあつた。ことばは神とともにあつた。ことばは神であつた。2.この方は、初めに神とともにおられた。3.すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもなかつた。ヨハネによる福音書1章全体を読むと、この「ことば」がイエス・キリストご自身であることがわかります。そして、ヨハネの福音書1章の14節を読むと、このことば、神である御子が、なぜ弟子たちと湖の舟に乗ることになつたのかがわかります。ヨハネの福音書1章14節、14 ことばは人となつて、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。

イエス・キリストは、私たちが祝うクリスマスの時に、完全に神でありながら、完全な人として、来られました。イエスがすべてを創造した神であるならば、その創造物を支配する力を持っていると考えるのが自然なことでしょう。これこそが、イエスがあの舟の中で見せてくださった、イエスは本当に神であつたということなのです。明確にしておく、聖書は神を三位一体の神と言っています。父、子、聖霊の3つの位格があり、1つの神の本質またはDNAを共有しています。トリニティー、日本語で「三位一体」とは、完全性や完結性という意味を持っていて、この世界で神の栄光と主権を十分に表現するには、この3つの位格が必要なのです。そして、この世界で、神がご自身の力を示すことは、弟子たちの信仰を強め、ご自身が誰であることを信じさせるためのものでした。40-41節のイエスの言葉と弟子たちの反応を見てみましょう。40 イエスは彼らに言われた。「どうして怖がるのですか。まだ信仰がないのですか。」41 彼らは非常に恐れて、互いに言った。「風や湖までが言うことを聞くと、いったいこの方はどなたなのだろうか。」 彼らは、自分たちがやがて神だと分かり、信じるようになるこの方を信頼することを、まだ十分に学びきれていなかつたのです。このイエスというお方が自ら進んで十字架にかかれ、死なれ、そして復活されるまで、彼らは献身的な弟子としてイエスに完全に従うことはありませんでした。しかし、イエスの死と、復活され、彼が神であることが証明されるのを目の当たりにした彼らは、イエスは嵐の中にあつても自分たちのことを考えてくださると信じ、信頼しただけでなく、残りの人生をかけて、あなたもイエスを信じる必要がある、と人々に伝えようとした

のです。彼らのイエスに対する信仰は非常に強く、イエスを裏切り死に至らしめた一人を除いた全員が、イエスは神であり、すべての人はイエスを救い主、主であると信仰によって受け入れる必要があることを宣べ伝えたために、迫害によって命を落としました。最終的に、彼らがイエス・キリストを信仰し、弟子として従った理由は、イエス・キリストが自然に対して奇跡を起こすことができたからではありません。それは、イエスが彼らの罪の上にある人生に、霊的な奇跡を起こすことができたからです。嵐に対する彼らの恐れは、罪が私たち一人一人に及ぼした影響のほんの一例に過ぎないことを思い出してください。聖書の [ローマ人への手紙 3 章 23 節](#) **すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、**そして [ローマ人への手紙 6 章 23 節](#)では、**罪の報酬は死です。**と語られています。それは地獄と呼ばれる苦しみでの永遠の死です。しかし、[ローマ人への手紙 6 章 23 節](#)には**しかし神の賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。**とあります。イエス・キリストがいなければ、そこには恐れる理由があります。私たちの人生は絶望的に罪と失敗に囚われています。私たちは素晴らしい仕事に就いているかもしれないし、素敵な子供たちや家族に恵まれているかもしれない。学歴も社会的地位も高いかもしれない。けれども、神の目には、あなたの罪と創造主であり正しい王であられる神を認めなかったために、あなたは彷徨い、神からの永遠の裁きを受け、神から引き離されるのです。しかし、イエスは十字架で死なれ、その時、イエスは霊的に私たちの罪をすべて負われたと聖書に書かれています。[第一ペテロの手紙 2 章 24 節](#)、**24 キリストは自ら十字架の上で、私たちの罪をその身に負われた。**それは、**私たちが罪を離れ、義のために生きるため。その打ち傷のゆえに、あなたがたは癒やされた。**イエス・キリストがあなたの罪のために死なれ、あなたの罰を受けられたことを信じ、神に背いた罪を悔い改め、イエスを主であり救い主として受け入れるとき、あなたはあなたの罪から癒されるのです。弟子たちが経験した救いを、あなたは霊的な形で味わうことができるのです。間違いなくやってくる嵐に直面したとき、神の臨在を体験することができるのです。それはイエスを通してだけです。その 2 章後のマルコ 6 章で、弟子たちは再び嵐の中にいます。この時、イエスは彼らと一緒にはいませんでした。彼らが海の真ん中にもかかわらず、イエスが水の上を歩いて彼らに近づいてくるのを見ました。そして、イエスは嵐の中にいる弟子たちに、今週子どもたちが学んだ[マルコの福音書 6 章 50 節 b](#)の言葉をかけられたのです。「**安心しなさい。わたしだ。恐れることはない**」と。イエスが共にいてくだされば、何も恐れる必要はありません。今の人生の状況も、死や死んだ後のことさえも恐れる必要はないのです。あなたはイエスを知っていますか？もしまだでしたら、今週の VBS を手伝った私たちの中で、このような名札をつけている者があります。どうすればイエス・キリストをもっとよく知ることができるのか、喜んでお話しさせていただきます。祈りましょう。

Fear and Faith Mark 4:35-41 VBS 2023

This week we had a great week in Vacation Bible School at YIBC, and we wanted you to experience a little bit of the fun that we had with this skit yesterday. But this skit is a true story that really happened to Jesus and disciples in the book of Mark in the Bible. Let's begin by reading this story from the Bible, where it is a bit shorter than our version. **Mark 4:35-41** 35 On that day, when evening had come, he said to them, "Let us go across to the other side." 36 And leaving the crowd, they took him with them in the boat, just as he was. And other boats were with him. 37 And a great windstorm arose, and the waves were breaking into the boat, so that the boat was already filling. 38 But he was in the stern, asleep on the cushion. And they woke him and said to him, "Teacher, do you not care that we are perishing?" 39 And he awoke and rebuked the wind and said to the sea, "Peace! Be still!" And the wind ceased, and there was a great calm. 40 He said to them, "Why are you so afraid? Have you still no faith?" 41 And they were filled with great fear and said to one another, "Who then is this, that even the wind and the sea obey him?"

The men being talked about in this passage of Scripture are Jesus and the 12 disciples who are with him. They are the 12 closest followers who went all over with him while he was on earth and saw him do all sorts of miracles on earth. This is likely near the beginning of their 3 year time with Jesus, but they had probably already seen him do some miracles, and they were about to see him do another. Jesus has just spent an entire day teaching the crowds that had gathered to hear him. He was teaching somewhere near the Sea of Galilee, which has also been called Lake Tiberius or Kinneret at various times in history. It is located about 120 kilometers north of Jerusalem. It is the lowest freshwater lake on earth. After the teaching was over, Jesus suggested that they go across to the other side. There were many times in his ministry that he would leave places by boat to get relief from all the crowds that gathered around him. Jesus and his disciples get into the boat and Jesus, tired from a day of teaching, goes to sleep at the end of the boat. While he is sleeping a storm comes us and Jesus continues to sleep right through it. Now, back in 2010-2012, I spent 2 years on a very big boat, the aircraft carrier based in Yokosuka. And during that time, I had the opportunity to ride on some of the smaller ships as well, that are closer to the size of this boat Jesus was on. Even without a storm, the boat moves around a lot in the water, rocking side to side. Typically, you can sleep really well because of it. But during a storm, that gentle rocking can become very scary, and that's on a modern steel warship. They were on a wooden fishing boat in the middle of a huge storm, and although most of the disciples were experienced fisherman and seamen, the size of this storm frightened them. Now what you need to know about the Bible is that it's not just another history book with a bunch of stories. Each of these stories is meant to help us to know who God is and specifically, God the Son, Jesus Christ. This means that there is application in these events even for today. Now most of us are never going to end up in a wooden fishing boat in the middle of a lake in a storm. But you will face various storms in your life. You will face circumstances that may or may not threaten your physical life, but they may threaten your physical health or your mental health or your relationships or your job or finances or bring any number of negative and difficult things into your life. This story in the Bible teaches us how we should approach those circumstances in the same way that the disciples did. Their first reaction was fear, but then they turned to Jesus and Jesus taught them a lesson in faith that we all need to learn. The storm was big...they were afraid, but Jesus was asleep. To them, Jesus sleeping showed a lack of concern, not only

for his life, but for their lives as well. So we are told in verse 38, **And they woke him and said to him, “Teacher, do you not care that we are perishing?”** In their minds, the storm going on around them meant Jesus did not care. We can feel the same way toward God sometimes. If there is a God that cares at all about us or about me, why am I going through this? Maybe you don’t really believe in God and whatever negative circumstances we go through are just coincidences of life. The Bible teaches that God exists as one singular true God of the universe who is the Creator of all life. This week the children learned that from the very first verse in the Bible, **Genesis 1:1, In the beginning, God created the heavens and the earth.** The pinnacle of his creation was us, humans. The universe and even humans were originally created perfect. The world did not experience life threatening storms and neither would the human beings that God created.

But that all changed when the first two humans, Adam and Eve sinned, meaning they broke God’s command and by that failed to glorify God. **Romans 5:12** in the Bible, explains how this affected all of us. **12 Therefore, just as sin came into the world through one man, and death through sin, and so death spread to all men because all sinned—** Sin isn’t based on society’s standards, it is based on God’s standard. As the creator, he determines what does not bring him glory, and for all of us, we have failed to recognize him as God and glorify him in one way or another. That sin affects the world and creation and us personally. That sin was the reason that the disciples had to fear the storm, because sin means, we can and will eventually die. But what they did not realize is that the one man with them in the boat asleep, is the one man who could take care of the problem of sin for them personally and rule over nature affected by our sin. Look at what happens next in verse **39 And he awoke and rebuked the wind and said to the sea, “Peace! Be still!” And the wind ceased, and there was a great calm.** This is incredible. Jesus woke up, still not afraid... he could have continued sleeping and it would have been fine with him. But he spoke the water into submission with 3 words (in English) Peace! Be still! And guess what, there was peace and the storm was still. How did Jesus, the man sleeping on the boat have this kind of power. It was because the Bible describes Jesus as being God himself by saying that he took part in our creation. In another book of the Bible, the book of John, Jesus is introduced in the first 3 verses, **John 1:1-3 like this: 1 In the beginning was the Word, and the Word was with God, and the Word was God. 2 He was in the beginning with God. 3 All things were made through him, and without him was not anything made that was made.** As you read through John chapter 1, you find out that this “Word” that is introduced is Jesus Christ himself. And verse 14 of John 1 shows us how this Word, God the Son ends up on a boat in a lake with these disciples. **John 1:14 says, 14 And the Word became flesh and dwelt among us, and we have seen his glory, glory as of the only Son from the Father, full of grace and truth.** Jesus Christ came at the time we celebrate at Christmas to become fully human while remaining fully God. If Jesus is God, who created everything, then it is reasonable to assume that he has power over that creation. That is what he demonstrated in that boat – that he was truly God. To be clear, the Bible describes God as a Trinity, existing as 3 persons, Father, Son and Spirit who share one Divine Essence or DNA. Trinity or San Miittai in Japanese speaks of perfection or completeness, and so with God it takes 3 persons to fully express his glory and sovereign control in this world.

And this demonstration of God’s power in this world was for the purpose of building the disciples faith and belief in who he was. Look at what Jesus says, and their response in

verses 40-41. 40 He said to them, “Why are you so afraid? Have you still no faith?” 41 And they were filled with great fear and said to one another, “Who then is this, that even the wind and the sea obey him?” They had not fully learned to trust this man, they would come to understand and believe in as God. It would not be until that man, Jesus, willingly went to a cross to die and then rise from the dead that they would fully follow him as a committed disciple. But after they experienced Jesus’ death, and then saw him resurrected, proving his identification as God, they not only believed and trusted that he could take care of them in a storm, they were willing to spend the rest of their lives telling people that they too needed to believe in Jesus. Their faith in him was so strong that all of these men except one who betrayed him to death, would actually go to their own death by persecution proclaiming that Jesus was God, and everyone needs to accept him by faith as their Savior and Lord. Ultimately, their faith in Jesus Christ, the reason they followed him as disciples, was not because he could work miracles over nature. It was because he could work a spiritual miracle in their lives over sin. Remember, their fear of the storm is just one example of the way that sin has affected every one of us. The Bible says in [Romans 3:23](#) that ...all have sinned and fall short of the glory of God, and in [Romans 6:23](#) we are told that the wages, or payment, of sin is death. That is eternal death in a place of torment called hell. But the rest of [Romans 6:23](#) reads, but the free gift of God is eternal life in Christ Jesus our Lord. Without Jesus Christ, there is reason to fear. Our lives our hopelessly trapped in sin and failure. We may have a great job... I know that many of you have wonderful children and families... You may have a great education and social status. But in God’s eyes, you are lost and separated from him for all eternity facing eternal judgement from him because of your sin and failure to acknowledge him as your Creator and rightful king. But Jesus died on a cross, and when he died on that cross, the Bible tells us he was spiritually taking all of our sin on himself. [1Peter 2:24](#) says, 24 He himself bore our sins in his body on the tree (that’s the cross), that we might die to sin and live to righteousness. By his wounds you have been healed. When you believe that Jesus Christ died for your sins and took your punishment, and repent of those sins against God, and accept Jesus as your Lord and Savior, then you are healed from your sin. You can experience the rescue that the disciples experienced in a spiritual way. You can experience God’s presence in your life when you face the storms that will without a doubt come our way. It’s only through Jesus. In another account of Jesus with his disciples in a boat just 2 chapters later in Mark 6, the disciples are again in a storm. This time, Jesus is not with them, but then they see him walking on the water out to them even though they are in the middle of sea. And when Jesus reaches them in the middle of that storm he says to them the verse the children have learned this week in [Mark 6:50](#), “Take heart; it is I. Do not be afraid.” With Jesus, we have no need for fear. No need to fear the circumstances of this life or even death and the life after. Do you know Jesus? If you don’t any of us who helped with VBS this week who are wearing tags like this would be happy to talk to you more about how you can know Jesus Christ. Let’s pray.